



intra-mart Accel Platform / Accelシリーズ

2026 Spring アップデート情報

© 2026 NTT DATA INTRAMART Corporation



2026 Spring

改訂履歴

更新日	版番号	改訂内容
2026/4/1	初版	初版発行

目次



- 本資料は開発中の画面が含まれている場合があります。
- 最新の情報は[リリースノート](#)をご確認ください。

はじめに

1. 製品開発・アップデート方針

2. 2026 Springアップデート概要

3. 生成AI対応

4. ローコード開発/DevOps機能

5. カスタマーエクスペリエンス向上のためのデータ活用準備

6. その他のアップデート

7. FAQ / Appendix

※目次タイトルをクリックすることでページに移動できます

はじめに

本資料の目的・背景

本資料は、当社製品「intra-mart Accel Platform」及び、業務アプリケーションシリーズ「Accel Applications」の最新バージョンにおける新機能や改善点をご紹介することを目的としております。あわせて、導入効果や今後の開発方針についてもご説明し、新規導入や旧バージョンからのアップデートを検討される際の参考資料としてご活用いただける内容となっております。

対象読者

旧バージョンをご利用中の方

最新機能や改善点を確認し、アップデートの検討にお役立ていただけます。





新規導入を検討中の企業様

製品の特長や導入効果を理解し、比較検討の参考にしていただけます。

アセスメントサービスのご案内

- ▶ intra-martのアップデート/バージョンアップをご検討中のお客様に対して、ご利用中の環境を調査するサービスをご提供しております。

アップデート・バージョンアップに関する課題

-  最新バージョンへの移行に不安がある
-  現行システムへの影響範囲が不明確
-  移行作業に必要な期間やコストを把握したい
-  移行後のパフォーマンスが心配

弊社へご相談ください！

アセスメントサービスご提供内容

状況ヒアリング・お見積もり

現行システムの構成や課題をヒアリングし、アセスメント内容と費用をお見積もり致します。

アセスメント実施

現行システムの状態を調査します。問題点を洗い出し、概算見積を作成致します。

レポートのご提出

アセスメント結果報告書、システム構成レポート、ユーザアプリ規模レポートなどのレポートを提出いたします。

アセスメント実施後の移行作業もご支援します。

開発者向けポータルサイト「Developer Portal」

開発者にわかりやすく各種情報・ドキュメントを案内するサイトを公開しております。
intra-martの各種開発情報の収集にご利用ください。

サイト概要

▶ <https://dev-portal.intra-mart.jp/>

Developer Portal



製品ドキュメント、YouTubeチャンネルコンテンツなど、
intra-mart関連情報の集約サイトです。
ローコード開発情報専用ページ「ローコードポータル」も本
サイトからご覧いただけます。

ローコードポータル



intra-martのローコードツールを使用した開発に関する、
専用ポータルサイトです。
開発フェーズごとのローコード開発ツール利用方法、各製
品にフォーカスした活用事例記事などを公開しています。

「Developer Portal」追加コンテンツ

2026 Springのリリースに合わせ、Developer Portalにローコード操作マニュアルのアップデート、IM開発者ガイド、及び、ワークフローガイドを追加しました。

ローコード操作マニュアル



Acce Studioを中心としたローコード開発の基本的な流れをフォローできるように章を追加、全体を調整
ローコード開発における試験やデバッグ情報の他、エレメントの特徴などを追加しよりわかりやすく

✓ [ローコード操作マニュアル](#)

IM管理者ガイド



intra-martの管理者ってどのような種類があって、どんな作業が標準で行えるのかに着目したガイド
マスタ操作やジョブの活用、開発を行うための基礎知識もフォローした「新しく管理者になる人」向けの総合ガイド

✓ [IM管理者ガイド](#)

ワークフローガイド



IM-Workflow、Forma/BIS、Acce Studioでのワークフロー開発の違いは？に着目したワークフローの総合ガイド
それぞれの特徴を把握して自社に適した開発手法選択の手掛かりとなる情報を提供

✓ [ワークフローガイド](#)

01

製品開発・アップデート方針

intra-mart Accel Platformが目指すもの

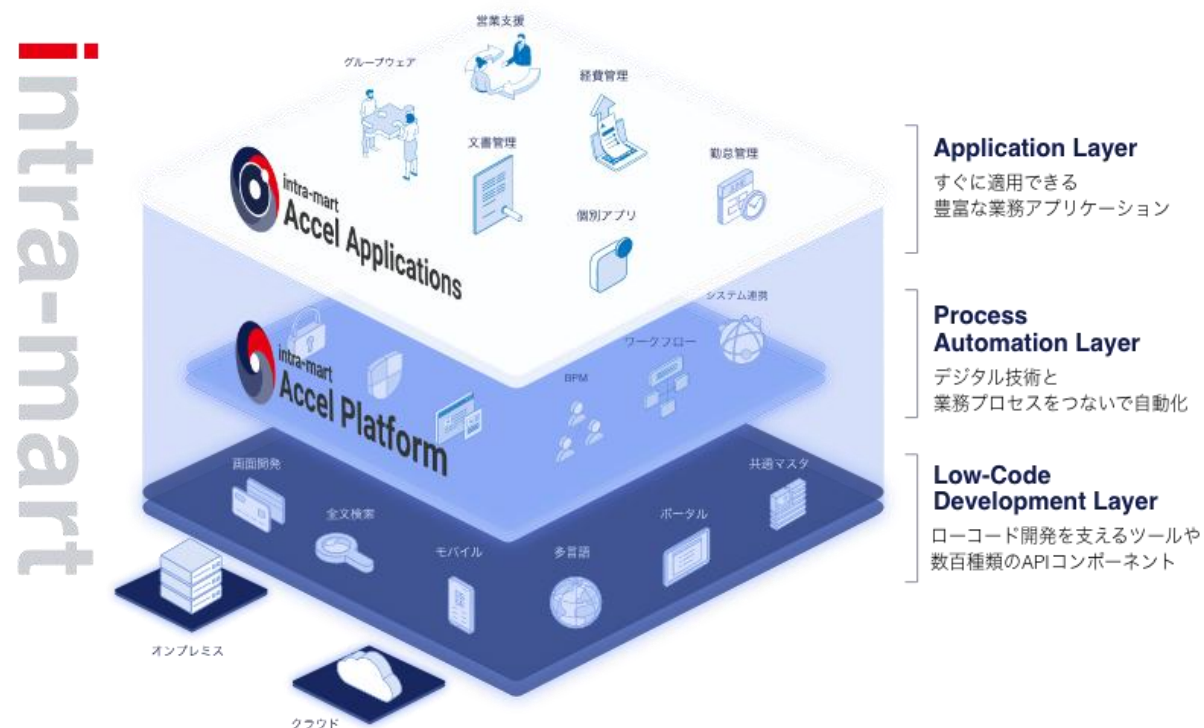


デジタル業務改革、もっと手軽に エンタープライズ・ローコードプラットフォームで実現

Making digital business transformation easier by Enterprise Low-Code Platform

intra-mart Accel Platformは、
企業の**デジタル業務改革**を実現するための
機能強化を実施しています。

業務の効率化をスピーディーに実現可能な
エンタープライズ・ローコードプラットフォームとして、
全体最適化されたシステムの開発・運用が可能な
プラットフォームを目指しています。



開発・アップデート方針



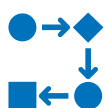
1. 先進技術をローコードで活用

生成AIなどの先進技術を駆使したアプリケーション開発を、スピーディーかつ手軽に実現するためのローコード機能の強化を実施しています。



2. 小さなスタートから持続的な成長へ

部門単位の小規模のシステム開発から全社規模の開発までをサポートした、DevOps機能の強化を実施しています。開発体験の統一と開発生産性の向上を目指します。



3. 正確な業務把握から全体最適へ

業務プロセス改革を実現するためのプロセス可視化から改善・実装に至るまでの、上流工程の要件定義を支援するBPM/ワークフロー機能を強化し、業務の全体最適化と自動化を実現するための開発を実施しています。



4. システムを繋いで業務を効率化

既存システムや他製品・サービスとの柔軟な連携が可能となるための機能強化を実施しています。例えば、既存の基幹システムはそのままの運用で、intra-martは基幹システムを拡張したシステムとして運用する、などの柔軟なシステム開発の実現を目指します。



エンタープライズ・ローコードプラットフォームの実現へ

02

2026 Spring アップデート概要

2026 Springの機能強化テーマ・ポイント

ビジネス変革に貢献するため、以下の3つの柱を中心にローコード開発プラットフォームを強化します。



01

ビジネス成長を支援する 生成AIの活用

ローコード/業務プロセスと生成AIの融合により、利用者の業務効率化を拡大。開発支援機能の拡充により、自律的な業務遂行を支援します。



02

さらなる開発速度向上、 コスト削減のためのDevOps 強化

ローコードを活用したDevOpsのユーザーストーリーを強化。Accel Studioのリソース管理機能強化やテスト自動化により、開発から運用までのサイクルを加速させます。



03

カスタマーエクスペリエンス 向上のためのデータ活用準備

IM-BPMのiGrafx連携強化により、業務プロセスの可視化と改善サイクルを支援します。データ収集の拡張により、お客様の利便性向上・安定利用を推進します。

03

生成AI対応

生成AI関連機能 開発ロードマップ

01



部品提供

開発者が生成AIを活用したアプリケーションを作成できる。

各種ドライバ提供

提供済

ローコード(LD)開発

提供済

Amazon Nova対応

提供済

Local LLM対応

計画中

02



従業員/開発者の支援

従業員や開発者が生成AIに支援されながら業務を遂行できる

IM-Knowledge対応

提供済

SQL生成

提供済

アシスタントローコード

提供済

アプリケーション生成

提供済

テストシナリオ生成

提供済

2026 Springでの追加リリース有

03



自律的に業務遂行

従業員が業務を依頼するとエージェントが自律的に業務を遂行できる。

2026 Autumn リリース予定

AI エージェント対応

エージェント開発

04



パーソナルエージェント

従業員がやるべき業務を提案し、従業員の依頼を自律的に遂行できる。

● 提供済

● 計画中

● リリース予定

IM-Copilot 生成AIモデル追加方針

ローコード開発/プロセス管理と生成AIの融合で業務効率化を大きく拡大します。

今後も最新モデル検証後、iAPのアップデートを待たずにサポート対象のAIモデルを追加していきます。

! 背景・製品方針

📌 お客様からの要望(アウトカウント)多数

LLMの進化速度に伴い、「最新モデルを早期に業務でつかいたい」という要望が多く寄せられていた。

✓ Solution 対応実績

2026年1月 OpenAI モデル対応

🗣️ GPT-5.1 / GPT-5.2 (チャットアクション)

✂️ 製品方針

高頻度検証 & 即時サポート化

- ✓ 製品アップデートを待たず、検証完了後にドキュメント (IM-Copilot利用ガイド)へ順次追加

公開タイミング

動作確認完了次第、随時

対象バージョン

提供済みの最新バージョン

チャットアクション APIの対応モデルの拡充

Amazon Bedrockに対してClaude Sonnet 4 / 4.5 / 4.6に対応しました。

AI サービス	対象モデル	対応時期	備考
OpenAI	GPT-5.1 / GPT-5.2	2025 Autumn(対応済み)	1月に2025 Autumnサポートモデルに追加済
Azure OpenAI Service	GPT-5.1 / GPT-5.2	2025 Autumn(対応済み)	1月に2025 Autumnサポートモデルに追加済
Amazon Bedrock	Claude Sonnet 4 / 4.5 / 4.6	2026 Spring	2025 Spring / Autumn向けにパッチ提供

- ✓ チャットアクションAPIは開発者が用途に応じてモデルを選択して利用する機能であり、最新モデルへの対応ニーズが高いことから、過去バージョンに対してもパッチを提供します

Amazon Bedrock デフォルト利用モデル変更

Amazon Bedrock において、Accel Studio アプリケーション作成アシスタント機能、及び、ViewCreator SQLビルダ アシスタント機能のデフォルトモデルをClaude Haiku 4.5に変更しました。

機能	変更前	変更後	対応時期	パッチ
Accel Studio アプリケーション作成アシスタント	Claude Sonnet 3.5	Claude Haiku 4.5	2026 Spring	2025 Spring / Autumn向けに パッチ提供
ViewCreator SQLビルダ アシスタント	Claude Haiku 3	Claude Haiku 4.5	2026 Spring	-

⚠️ 注意点

Accel Studio アプリケーション作成 アシスタントご利用の場合

Claude Sonnet 3.5 は日本リージョンにおいて2026年7月30日以降にサポート終了予定です。終了後は本機能(Amazon Bedrock 利用時)が利用できなくなるため、パッチの適用を推奨します。

※ ViewCreator SQLビルダ アシスタント:変更前のモデルも引き続き利用可能なため、パッチの提供はありません。

サポートサイト / FAQ

<https://product.intra-mart.support/hc/ja/articles/55542151008537>

Amazon Bedrock モデレーション機能追加

2026 SpringではAmazon Bedrockにおいてもチャットアクションを利用しやすくするため、Amazon Bedrock Guardrailsを利用し、不適切な入出力を制御するモデレーション機能を追加しました。

💬 モデレーション機能とは・・・ 不適切なコンテンツを自動検出・制御し、生成AIの安全な利用を支援する機能

Before ! 解決する課題

Amazon Bedrockはプロンプトによる部分対応

OpenAI、Azure OpenAI Serviceはモデレーション対応されていたが、Amazon Bedrockは部分対応にとどまっていた。



After ✓ Amazon Bedrockでも専用のモデレーション機能が利用可能に

✓ Guardrailsで自動適用



注意点

利用には追加設定が必要です。
AWS側でのガードレール作成とintra-mart
の設定ファイルの追記で有効化できます。

生成AI活用のユースケース

intra-martコミュニティサイト「icoNEO」内のコンテンツとして、生成AI活用のアプリケーション例やプロンプト集、及び、生成AIを活用するためのナレッジや手法を公開しております。

icoNEOサイト

▶ <https://iconeo.intra-mart.jp/imart/login> (要アカウント登録)

生成AIユースケースカタログ

IM-Copilot

デジタル業務改革を加速させるエンタープライズ・ローコード プラットフォーム「Accel Platform」上で、生成AIの力を活用したアプリケーション開発を支援する「IM-Copilot」。

IM-Copilotを使えば、プログラミングの知識がなくても、生成AIの力を借りて、高度なアプリケーションを手軽に作成できます。

IM-Copilotの詳細については、以下の利用ガイドをご覧ください。
IM-Copilot利用ガイド

生成AIを使い、業務効率化を支援するアプリケーションとプロンプト集

本カタログでは、IM-Copilotを使ったアプリケーション実装例や、生成AIを効果的に活用するためのプロンプト例を豊富に紹介しています。アプリケーションやプロンプトを使って、業務効率化や問題解決につながるアイデアを形にしてみませんか？

デジタル業務改革の新たな一歩を踏み出すヒントが、きっと見つかるはずです。

アプリケーション例 プロンプト集

IM-Copilotを活用したアプリケーションで、業務の効率化と生産性向上を実現！

このアプリケーション例では、実際の業務で生成AIを使うとどれだけ業務が効率化できるかを体験できます。

IMGUユーザ、IM-Ambassadorが閲覧可

生成AI活用メソドロジー

intra-mart 生成AI活用メソドロジー 改訂情報

生成AI活用メソドロジー

生成AIを活用するために必要となる様々なナレッジ、手法を紹介します。

[ここからスタート](#)

IM-Ambassador、TechCamp参加者が閲覧可

04

ローコード開発/DevOps機能

さらなる開発速度向上、コスト削減するためのDevOps強化

DevOpsサイクルのボトルネックを解消し、開発生産性を向上させます。

⚠ 現状の課題

🔗 機能間導線・一貫性の不足

ローコード機能間(辞書・列挙、参照設定など)の連携が悪く、手戻りや不要な画面遷移が発生している。

👤 UX上の手作業・負荷

エレメントセットの再読み込みやルーティングURLの再作成など、本来自動化されるべき作業が残っている。

🔍 管理・可視化の難しさ

アプリリソースが増加すると全体像が把握しづらく、Excel等での別管理が必要になっている。



📌 主な改善施策



リソースタグ付け機能の追加

アプリリソースをカテゴリや状態(開発中、レビュー済等)でタグ付け管理可能になります。Excel管理から脱却し、Accel Studio上で一元管理を実現します。



WF定義のリソース追加・解除対応

Accel Studioのリソースとして管理可能なワークフロー定義を追加・解除可能にすることにより、より柔軟な資材管理を実現します。



テスト自動化の拡充

単一画面だけでなく、複数画面にまたがるアプリや、ワークフロー全体のテストシナリオを一括生成可能にします。



UI/UX改善

実際の開発・運用シミュレーションを行い、各開発ツールのUX改善を図っています。

リソースタグ付け機能

タグの作成のリソースへの付与、検索ができるようになります。

Before ! 解決する課題

大量のリソースをID・名称・備考などの情報からしか検索できない

複数人でアプリ開発をする際、担当割やステータスをExcelで管理



After ✓ Accel Studio上で担当割、ステータスをタグ付けし、管理を効率的に



リソース種別横断のカテゴリズを可能にし、リソースの分類・検索性が向上します。

WF定義のリソース追加・削除対応

Accel Studioのリソースとして管理可能なワークフロー定義を追加・解除可能にしました。

Before 解決する課題

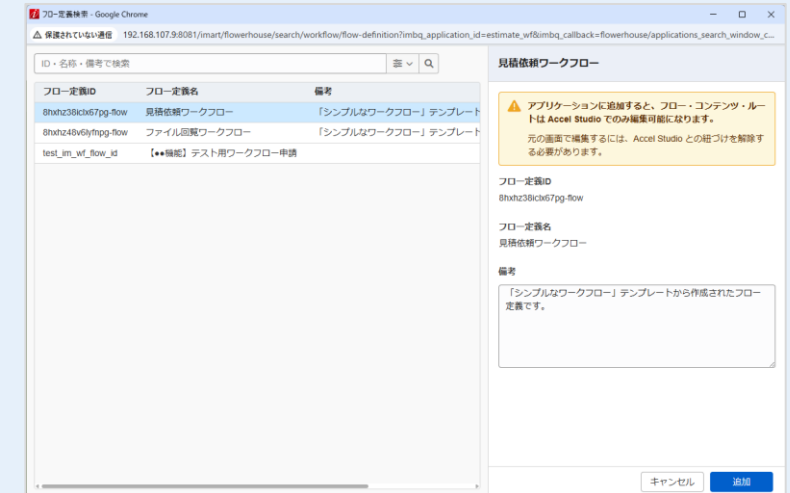
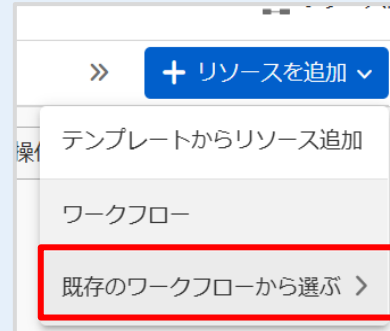
Accel Studio外で作成したローコード
資材のワークフローをアプリケーション
に集約できない

(例)IM-BloomMaker+IM-LogicDesigner+IM-
Workflowで開発した資材
検証環境から本番環境へ資材を移行したい場合に、
Accel Studioの空のアプリケーションにリソースを集
約して移行できない。

ワークフロー定義を誤って追加した場合、
紐づけを解除できない

誤って追加してしまった場合は再作成が必要であった

After Accel Studioのアプリケーションにワークフ ロー定義を追加・解除が可能になり、柔軟な資材 管理を実現



⚠ 注意点

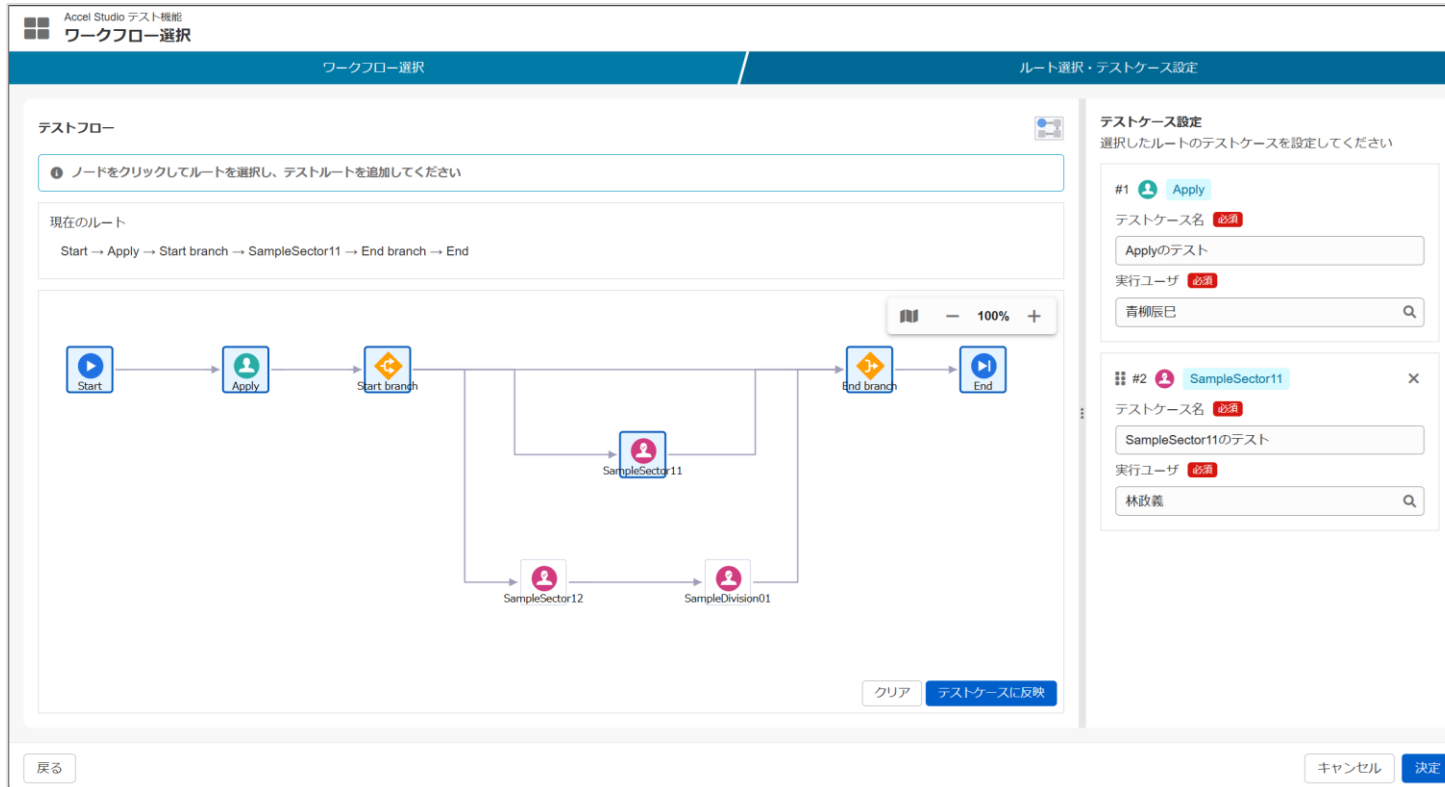
追加可能なワークフロー定義については制限あり。

- ・フロー:ルート:コンテンツが1対1対1であること
- ・3つのバージョンが一致していること
- ・BIS あるいは 他のアプリに紐づいていないこと

テスト自動機能の拡充

2025 Autumnのテストシナリオ一括生成機能を拡充し、ワークフロー定義を元に、申請から最終承認までフローを通じたテストシナリオを自動生成できるようになりました。

単体画面から**フロー全体**へ テスト自動化の範囲を拡大



The screenshot displays the 'Accel Studio テスト機能' (Accel Studio Test Functionality) interface. The main area is titled 'ワークフロー選択' (Workflow Selection) and shows a flowchart with nodes: Start, Apply, Start branch, SampleSector11, SampleSector12, SampleDivision01, End branch, and End. A '現在のルート' (Current Route) section shows the path: Start → Apply → Start branch → SampleSector11 → End branch → End. On the right, the 'テストケース設定' (Test Case Configuration) panel is visible, showing two test cases: #1 'Apply' and #2 'SampleSector11'. Each test case has fields for 'テストケース名' (Test Case Name) and '実行ユーザ' (Execution User).

- ✓ ワークフロー定義を指定して一括生成
- ✓ 申請 ~ 承認 ~ 決裁 の流れを網羅
- ✓ コンテンツ画面の入力項目を考慮したシナリオ作成

UI/UX改善

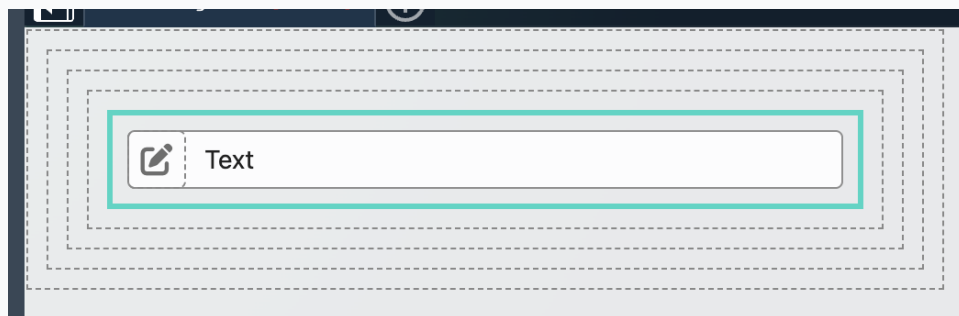
imdsの入力系エレメントをフィールドグループ配下以外にも配置できるよう制約を緩和しました。

Before

! 解決する課題

テキスト入力1つ配置するだけでもエレメント数
が多くなる

imdsの入力系エレメントはフィールドグループ配下にのみ配置できる制約があり、エレメント数が多くなり、パフォーマンスにも影響。

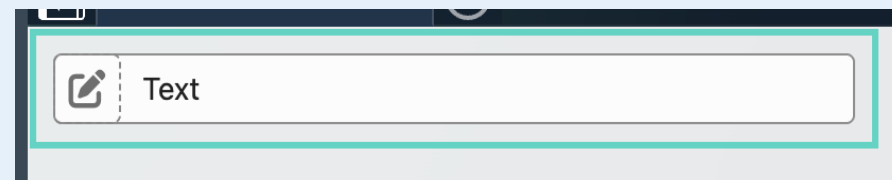


After



柔軟なコンテンツ作成を可能に

- ✓ 親エレメントの制約を緩和
- ✓ コンテナページやボックスなどの汎用エレメントに直接配置可能になり、エレメント数を削減

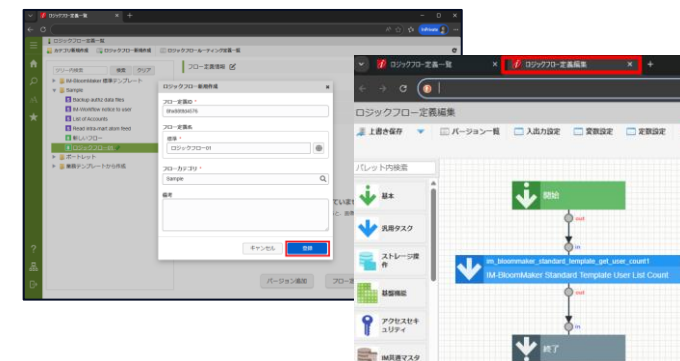


UI/UX改善

バージョン管理を意識した、ロジックフロー新規・編集時の保存操作のUX改善を行いました。


背景 ユーザから「IM-LogicDesignerとIM-BloomMakerで操作感が異なる」との声を多数いただき対応

変更内容:IM-BloomMaker方式に統一



改善効果

 **統一された開発体験**
作成と編集がスムーズにつながる導線に

 **意図しないバージョン作成防止**
よく使う操作は簡単に、特別な操作は意図的に行う設計で、誤操作を防止

 **学習コストの削減**
共通の操作体系で習得容易化

UI/UX改善

案件絞り込み条件の並び順を、一覧表示パターンの並び順に表示に設定できるようになります。

Before

解決する課題

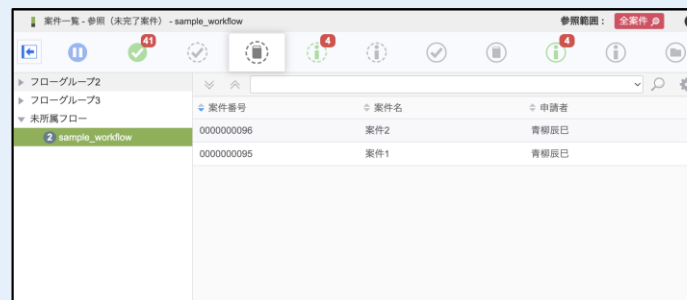
案件一覧の「絞り込み条件」の各項目の並び順が固定となっており、変更する手段がありませんでした。

背景

「一覧に不要な項目を検索から消したい」や「重要項目を上にもっていきたい」など多数の要望をいただいております。

After

一覧表示パターンの並び順と合わせることが可能に



案件番号	案件名	申請者
0000000096	案件2	青柳辰巳
0000000095	案件1	青柳辰巳



絞り込み条件

新しいMy検索条件として登録

案件番号

案件名

申請者

絞り込み クリア

- 絞り込み条件の検索項目も一覧表示パターンで設定した並び順で表示することで、案件一覧と同じ項目・順番になる
- ワークフローパラメータで元の動作とすることも可能

UI/UX改善

リスト集計のデータを Excel 形式での出力機能を追加しました。

Before

! 解決する課題

Excel出力するにはIM-LogicDesigner
での実装

お客様にとっては難易度の高いスクリプト等を用意する
必要があり、案内しづらい

背景

「CSV ではなく Excel で一覧データを出力して
取り扱いたい」という多数の要望をいただいてお
りました。

✓ After

リスト集計のデータを標準機能でExcel 形式
で出力可能に



The screenshot shows a data table titled 'imm_user' with columns for 'ユーザーコード', 'ユーザの有効期間の開始日', 'ユーザの有効期間の終了日', and 'ユーザ名'. The table contains four rows of data. Above the table, there are buttons for '詳細検索', 'CSV出力', 'Excel出力', and '帳票出力'. The 'Excel出力' button is highlighted with a blue box.

ユーザーコード	ユーザの有効期間の開始日	ユーザの有効期間の終了日	ユーザ名
tenant	1900/01/01 00:00	3000/01/01	tenant
tenant	1900/01/01 00:00	3000/01/01	tenant
tenant	1900/01/01 00:00	3000/01/01	tenant
ueda	1900/01/01 00:00	2000/01/01	上田辰雄

✓ ViewCreatorの設定のみで利用可能（スクリプト開発不要）

UI/UX改善

リスト/サマリ集計のスタイル設定、および、データ参照画面からカラム幅変更が可能になりました。

Before

! 解決する課題

デザインシステムに準拠した画面刷新の際、画面が崩れる

アップデート時に文字や余白が変わったことにより調整していた画面が崩れてしまう。

管理者しかカラム幅の変更ができない

データ参照編集画面から各カラムについて個別に設定が必要であった。



After

✓ 利用者の参照性の向上

- ベーシックスタイル
2025 Springで刷新したデザインシステム準拠
- コンパクトスタイル
2025 Springより前に提供していた文字サイズや余白を狭くしたimuiライクなスタイル

- ✓ データ参照毎にスタイルの設定が可能
- ✓ 設定ファイルのデフォルト値を変更することにより一律で初期値を変更することも可能

地域名		地域名
北海道	⇔	北海道
東北		東北
東北		東北
東北		東北

- ✓ 一般ユーザがデータ参照画面からカラム幅を直感的に変更可能

UI/UX改善

Accel Platform Mobileがタブレット画面サイズに対応しました。



Before

解決する課題

これまではタブレット画面サイズは非対応
スマートフォンのサイズで表示することは可能でした。



After

タブレット画面サイズに対応

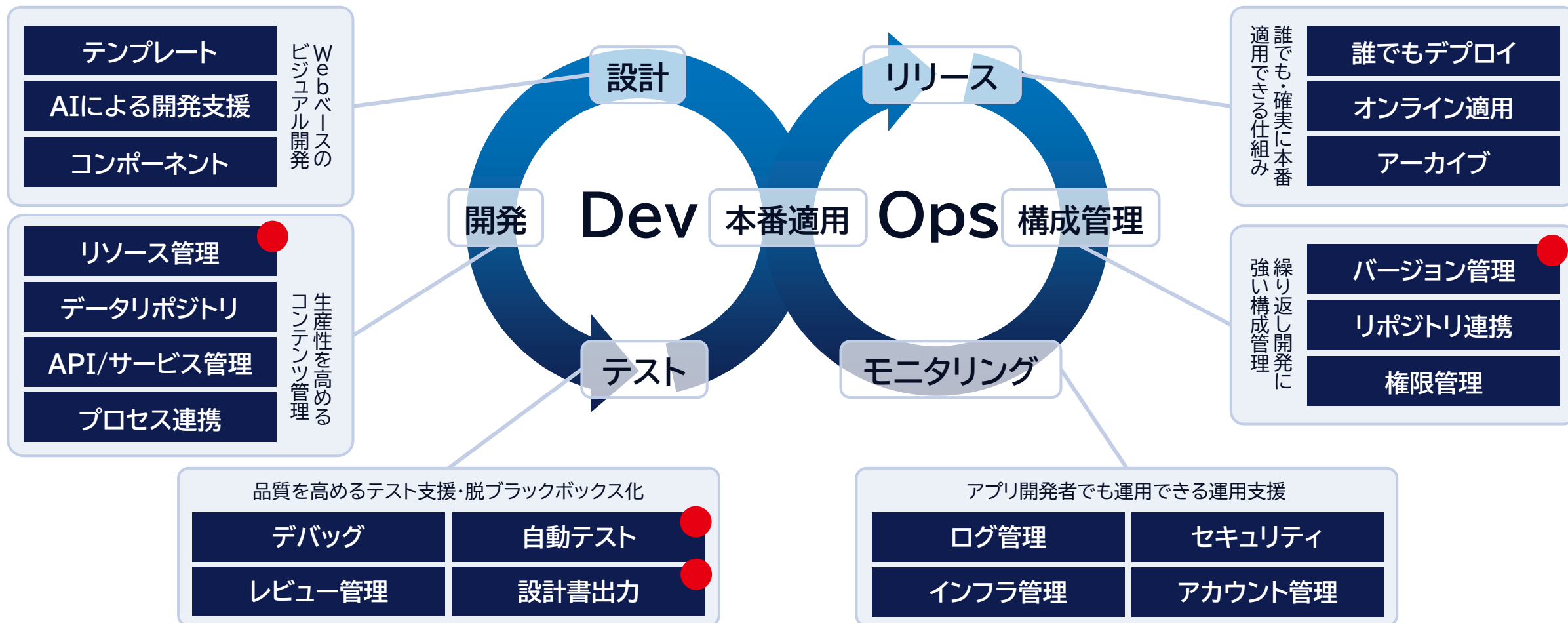


大きな画面で操作することが可能になり、
操作性・視認性が向上

intra-mart Accel PlatformにおけるDevOps機能

intra-martのローコード開発は一般的なローコード開発と異なり、大規模システムの開発・運用に対応可能な各種DevOps機能を搭載しております。

● 2026 Spring 強化ポイント



ローコード開発と生成AIを取り入れたDevOpsライフサイクル

DevOpsは、開発から運用までを連携させ、迅速かつ効率的なシステム開発と安定運用を実現する考え方です。ビジネス部門とIT部門が密接に連携し、**ローコード開発に加えて生成AIを活用する**ことで、アプリケーション作成やテスト作成の自動化が可能になり、アジャイルなサイクルで価値を素早く提供します。

設計フェーズのアクション



AIによる設計支援

AIで生成したプロトタイプ画面と業務フローで業務システムの改修案を合意する。



業務設計者 /
ビジネスアナリスト



UI/UX
デザイナー



システム利用者

リリース・本番適用フェーズのアクション

本番環境をリリースし、システムの運用を運用管理者に引き継ぐ。



開発エンジニア



運用管理利用者

開発・テストフェーズのアクション



AIによる開発支援

プロトタイピングで合意した仕様に基づいて開発・テストを実施する。



UI/UX
デザイナー



開発エンジニア /
モジュール設計者

運用・構成管理フェーズのアクション

システムの運用状況を継続的に監視する。また、業務改善効果を確認する。



運用管理利用者



業務設計者 /
ビジネスアナリスト



システム利用者

05

カスタマーエクスペリエンス向上 のためのデータ活用準備

カスタマーエクスペリエンスの向上のためのデータ活用準備

顧客体験(CX)の向上とDX推進のため、業務データとプロセスデータを統合し、可観測性を高めるデータ基盤を整備します。

◎ データ活用の狙い

≡ プロセス実行ログ + **業務データ**

単なる操作ログだけでなく、実際の業務データ(金額、顧客、ステータス等)を紐づけて統合的に管理する。

◎ 可観測性(Observability)の向上

「誰がいつ承認したか」に加え、「なぜ遅延したか」「どの業務が高負荷か」をファクトデータに基づいて分析可能にする。

≡ リテンションと製品改善

顧客の利用状況やDX推進度を正確に把握し、効果的なリテンション活動や製品機能の改善に繋げる。

⚙️ 具体的な実装・機能



プロセスマイニング連携 (IM-BPM×iGrafx)

収集したデータをiGrafxのプロセスマイニングサービスで活用できるように連携機能を強化。業務KPIの分析やボトルネックの特定を支援。



データ連携の自動化・省力化(IM-BPM×iGrafx)

従来の手動CSV連携から、API経由でのジョブ定期実行による自動アップロードに対応。運用負荷を下げ、リアルタイムに近い分析環境を提供。



WFモニタリングデータの収集機能

ワークフローやBPMの稼働状況データを収集する機能を実装。重要度の高い業務プロセスデータ(ワークフロー/BPM)を中心に、170項目を超えるデータを収集対象として整備。

iGrafX Process360 Liveとは

iGrafX®

iGrafX Process360 Liveとは、業務プロセスの可視化、分析、自動化を1つのプラットフォームで実現する業務プロセス最適化ソリューションです。

現状把握と方針の立案

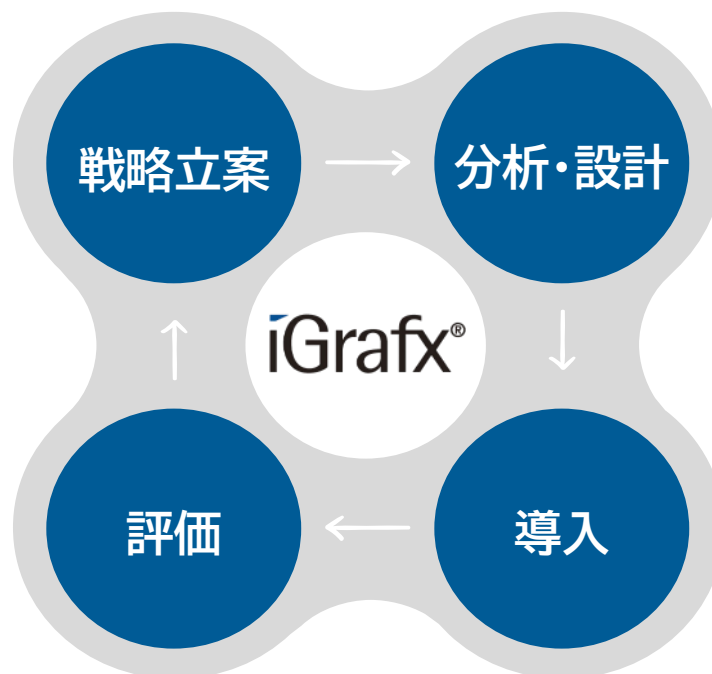
- 事業構造のモデル化
- 追跡する指標の明確化(KPI定義)

Process360 Live Modeling

プロセスの監視と評価

- 標準プロセスの徹底とKPI評価
- 例外プロセスと異常値の把握

Process360 Live Mining



業務分析と再設計

- ボトルネックと非効率の発見
- 改善効果のシミュレーション

Process360 Live Modeling

Process360 Live Mining

Process360 Live Simulation

業務の自動化

- 豊富な各種システムとの連携アダプタ (OpenAI、RPA、ITシステム)

▶ 株式会社BiXiコンサルティングより、iGrafX Process360 Liveを「iGrafX マネージドサービス BiXi DAIA powered by iGrafX」としてご提供しております。詳細は弊社または株式会社BiXiコンサルティングまでお問い合わせください。(https://www.bixic.com/bixi_daia)

iGrafxとintra-mart連携によるDTOの実現

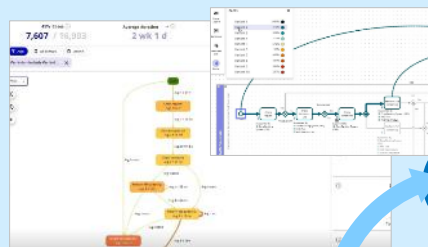
- ▶ デジタルツインとは、現実世界のモノや情報をデジタル空間上で忠実に再現する技術のこと
- ▶ DTO(Digital Twin of an Organization)とは、組織の活動をデジタル空間上で再現して改善を考える仕組みのこと

iGrafx®

戦略

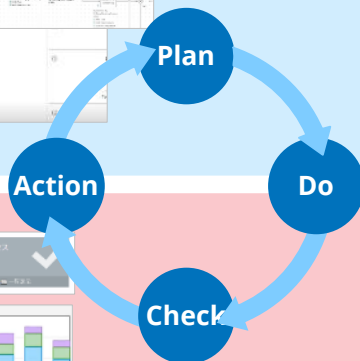
プロセス設計とマイニング

データをもとに現状を可視化し、業務のあるべき姿を設計



シミュレーション

デジタル化された改善効果を定量的にシミュレーション



intra-mart®

実行

モニタリングと改善

業務プロセスを監視し、DX改善サイクルを管理・運用



プロセス実行

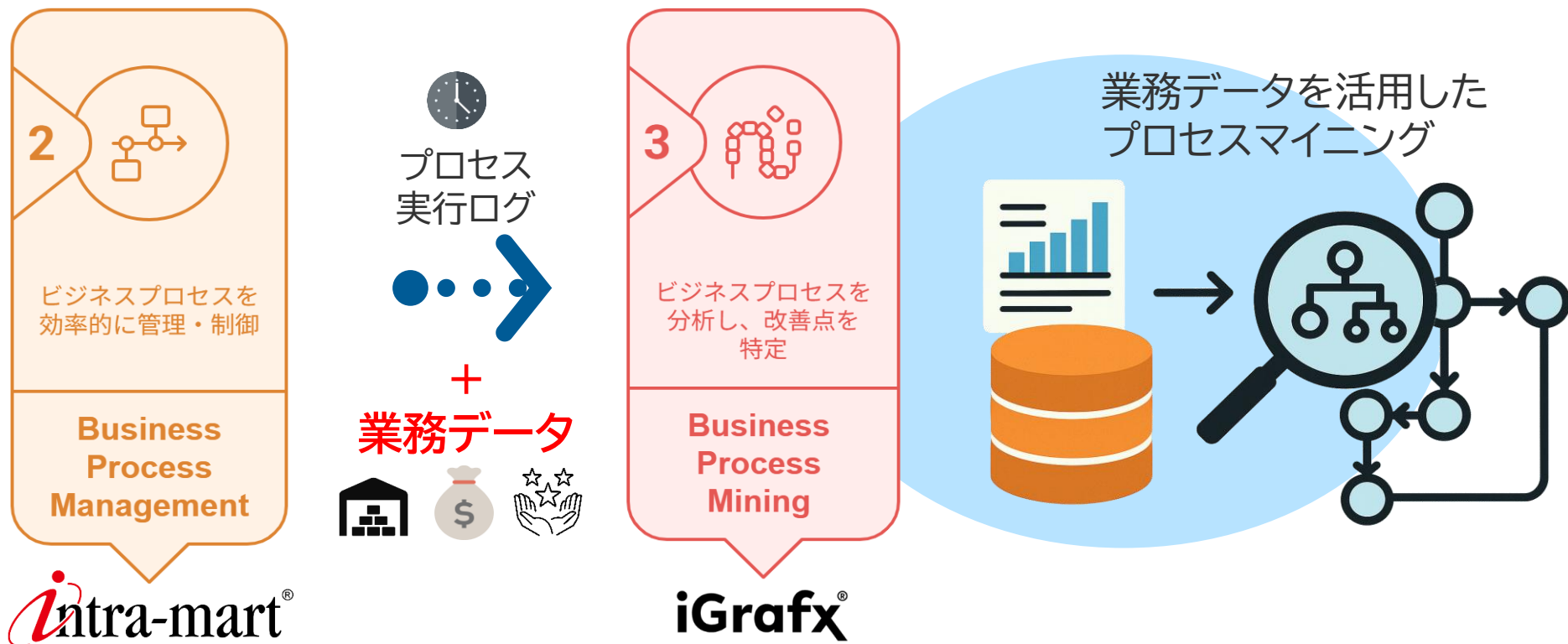
ローコード開発によりシステムを素早く実装



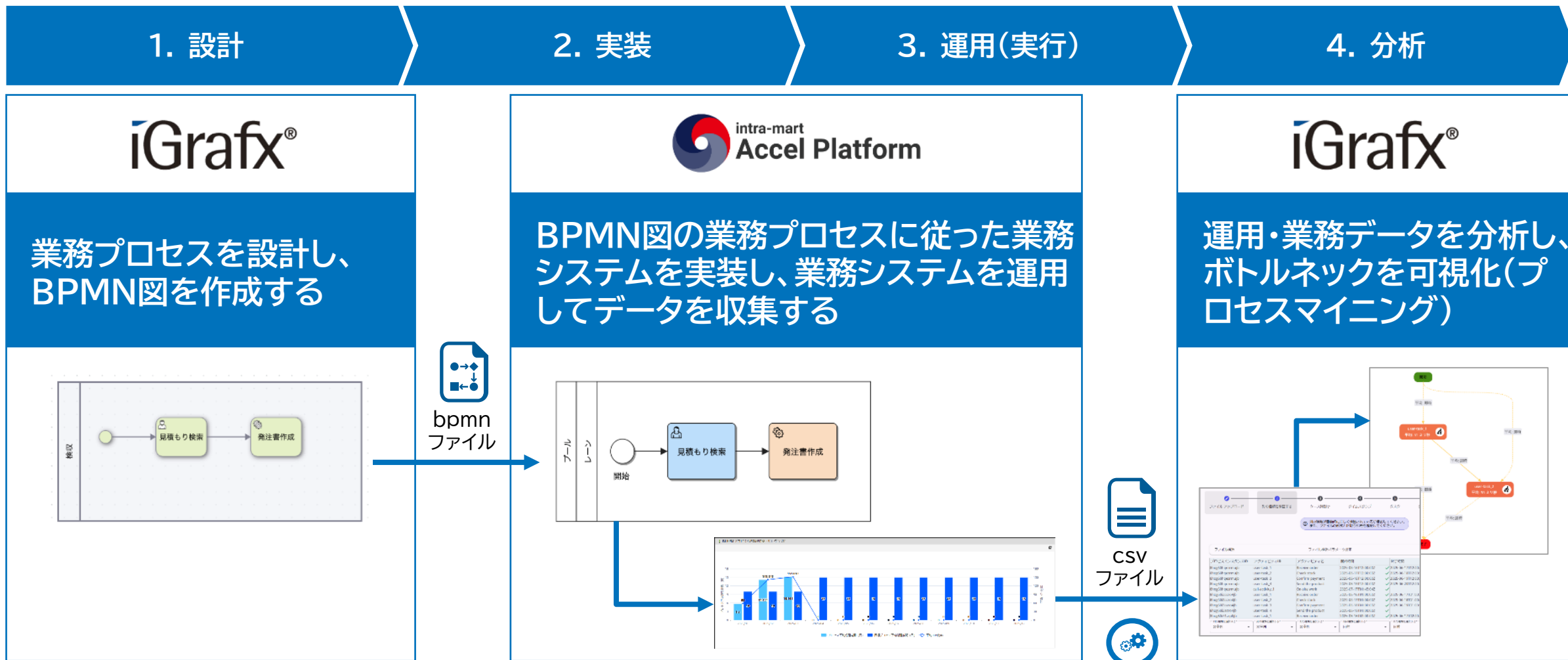
iGrafxで最適化プロセスを設計・分析し、intra-martで実行・運用することで、業務改善サイクルを向上させる「業務プロセスのデジタルツイン(DTO)」を実現

IM-BPMのiGrafx Process360連携強化

2025 Autumnのプロセス実行ログCSV連携機能に加え、2026 Springでは**業務データ**をiGrafx Process360 Liveに連携することが可能になりました。さらに**API連携も対応**しておりますので、**シームレス**に**実際に実行された業務の分析、問題点の迅速な特定、継続的な改善**を図ることが可能になります。



システム連携フロー(iGrafex Process360 Live × intra-mart)



詳細は「[iGrafex Process360 Live for IM-BPM 連携ガイド](#)」をご確認ください。

自動連携 (API) New

データクレンジング処理機能

BPM運用の業務分析/改善工程として重要なプロセスマイニングにおける、データクレンジング処理機能を追加しました。

Before
! 解決する課題

分析する度に手動作業が発生

手動で実行ログデータをエクスポートし、必要なクレンジング処理を手動で実施する必要があった

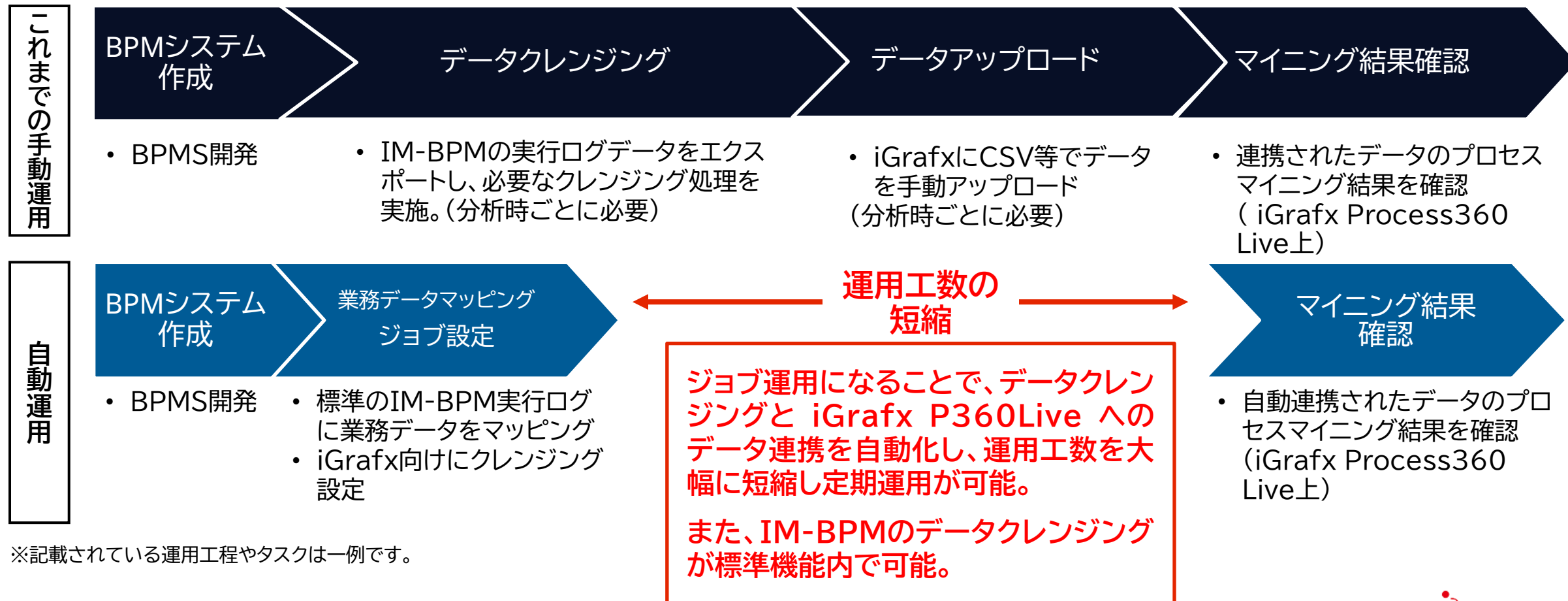


After
✓ ジョブ運用により改善のPDCAサイクルを推進

- ✓ 標準のIM-BPM実行ログに業務データをマッピングするジョブ設定、及び、定期ジョブ設定
- ✓ iGrafx Process360 Live向けにクレンジング設定

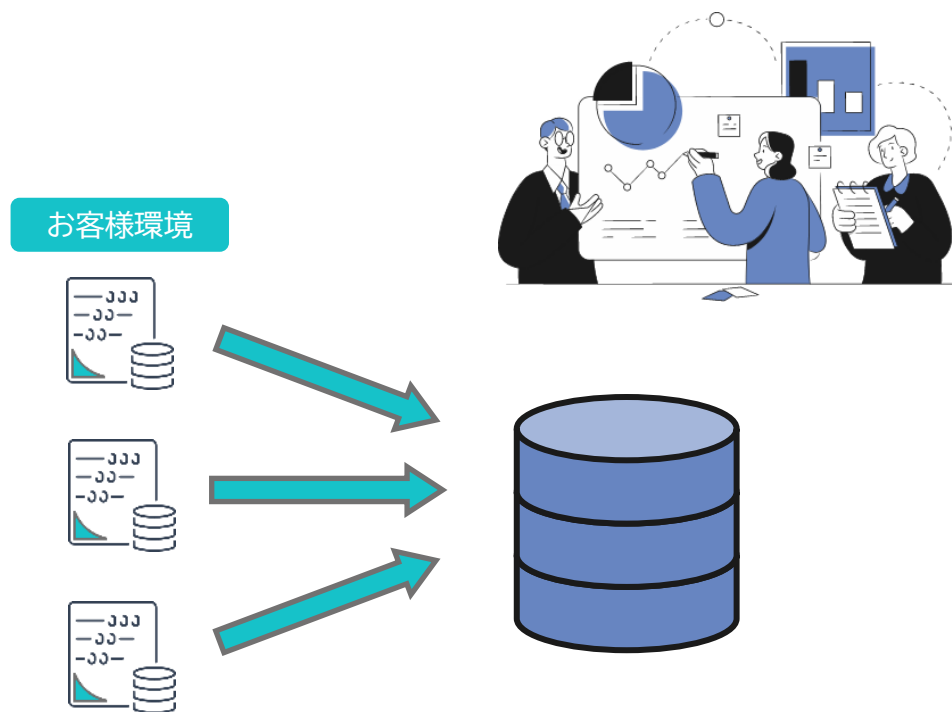
業務KPI分析の定期的な運用が容易に

- ✓ iGrafx Process360 Liveへのデータ連携とデータクレンジング処理のジョブ設定の利用により、**データクレンジングとデータアップロードの運用工数を大幅に短縮**。迅速で安定的な業務分析が可能になりました。



収集データの拡張

製品やサービスの向上、維持、改善のためにCSLでご利用されているお客様環境から収集しているデータにおいて、これまでのログデータから拡張し、アプリケーションデータも対象になります。



✓ After

業務プロセス関連データも収集対象に

ワークフロー

- ・モニタリング機能のデータ
- ・各種マスタ定義の件数

BPM

- ・プロジェクト、プロセス定義、プロセスインスタンスの数
- ・プロセス定義の情報

- ✓ これまで以上にお客様の利用情報の把握ができ、製品開発に反映される仕組みを強化しました。

! データの収集、及び、利用については、ソフトウェア使用許諾契約書に準じます。

収集データにより利便性・安定性・安全性を高めます



1. トラブル早期発見・解決

エラーログや環境情報を自動把握。不具合発生時の原因特定が迅速化し、サポート対応もスムーズに行われます。



2. 安定した稼働環境

パフォーマンス低下の予兆や非推奨設定をいち早く検知。運用トラブルを未然に防ぎ、安定したシステム稼働を保ちます。



3. ユーザ体験(UX)向上

利用画面データから「よく使われる機能」や「迷いやすい導線」を把握し、実利用に即したUI/UXの改善につなげます。



4. 製品の品質向上

実際の構成情報や利用状況を分析し、よりニーズの高い機能追加や、バージョン間のパフォーマンス改善を実施します。



5. セキュリティ改善

古いライブラリの使用や危険な設定を検知。脆弱性が見つかった際の迅速なフォローや不審な利用の早期発見に貢献します。



6. データ保護の安心感

個人情報や機密データなど、ユーザーが入力した業務データは一切収集されません。情報漏えいリスクなく利便性を向上できます。

! データの収集、及び、利用については、ソフトウェア使用許諾契約書に準じます。

06

その他のアップデート

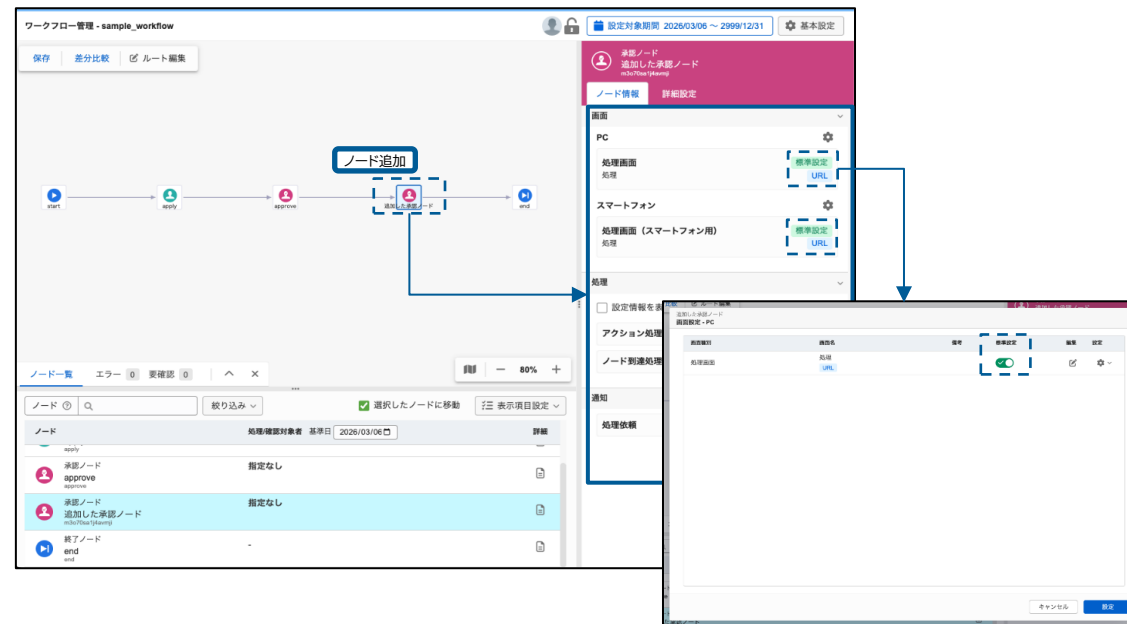
ワークフロー管理「標準設定」機能追加

ワークフロー定義に「標準設定」という機能を用意し、フロー全体の標準となる設定をできるようになりました。これまででは追加したノードの分だけ個別に各種の設定を行う必要がありましたが、フロー全体の**標準となる設定を反映されることで開発生産性の向上が図れます。**



✔ **都度設定が解消される項目**

画面設定(PC / スマートフォン)、アクション処理、ノード到達処理、通知処理



⚠ **注意点**

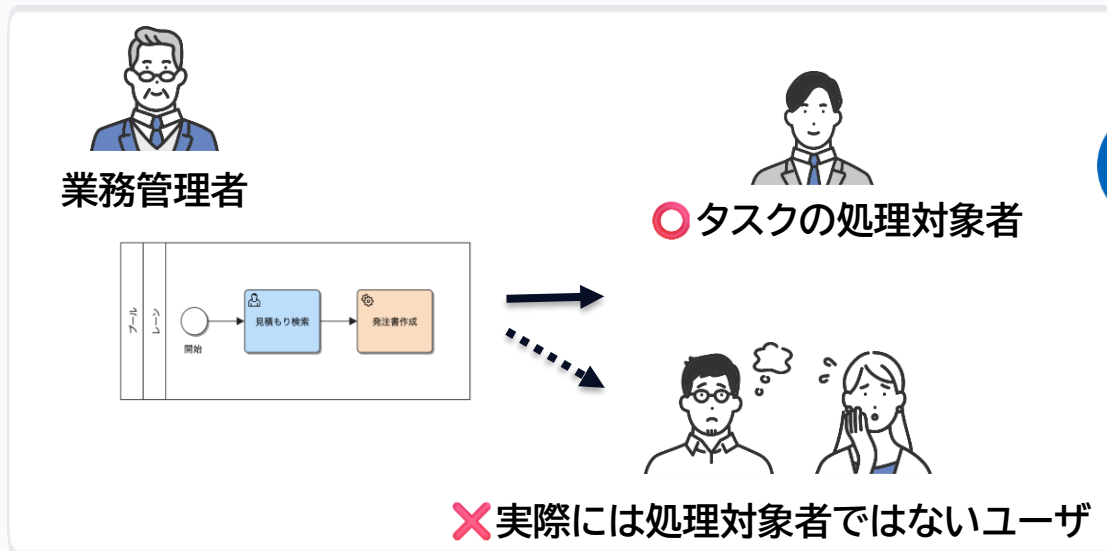
2025 Autumn以前で作成されているワークフローの場合は、標準設定が空になっているため、アップデート後に設定が必要

タスク管理の振り分け時の処理対象者の表示制御変更

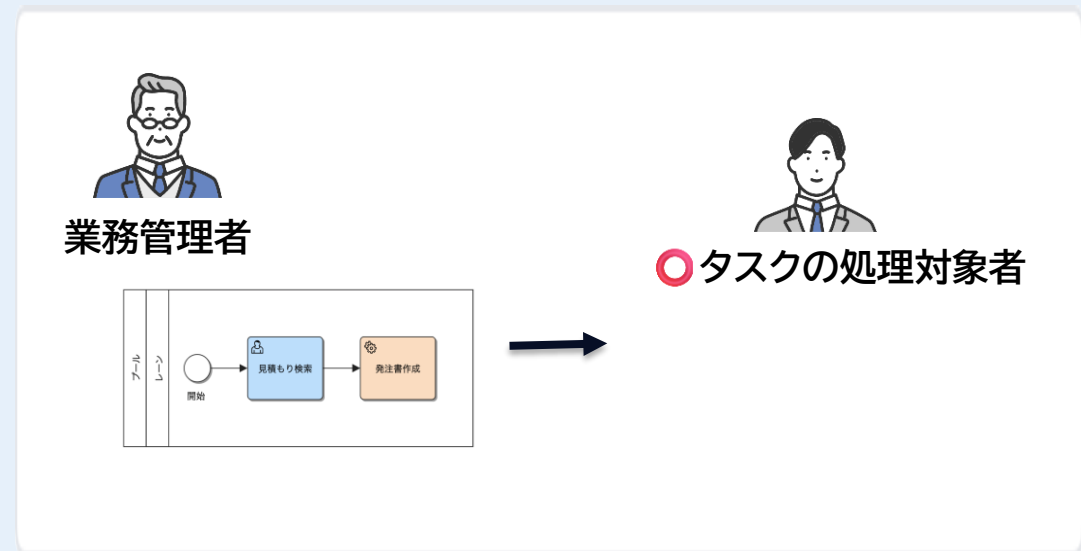
タスク管理画面の振り分け操作時に表示されるユーザを、処理対象者のみを表示するように表示制御の仕様を変更しました。

Before ! 解決する課題

振り分け先として、処理権限有無・対象設定有無にかかわらず、全ユーザから選択可能であった



After ✓ 振り分け先を、処理権限あり・処理対象者で絞り込み表示が可能に



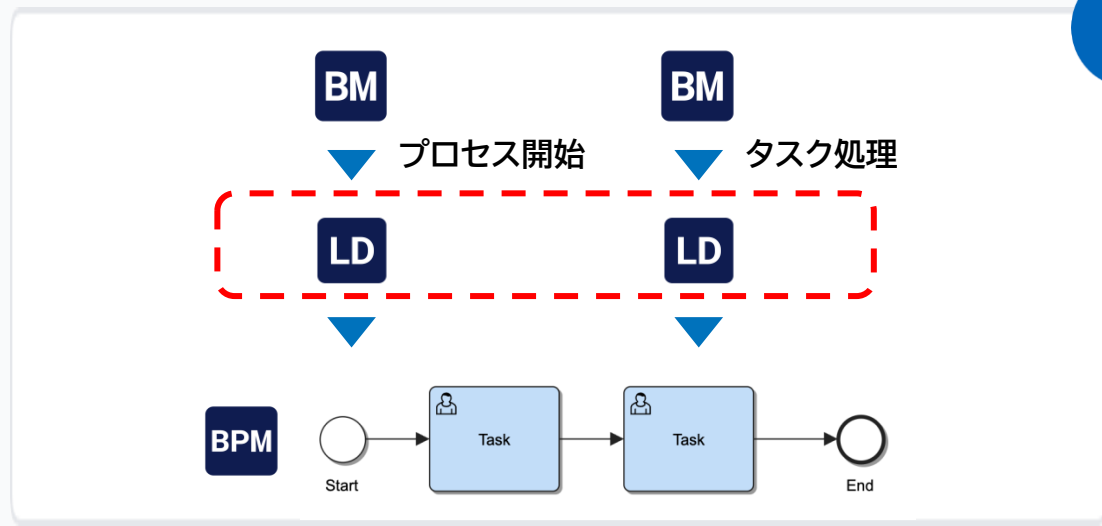
IM-BPM関連の標準アクションを追加

IM-BloomMakerにIM-BPMを操作するための標準アクション「プロセス開始」「タスク処理」を追加しました。

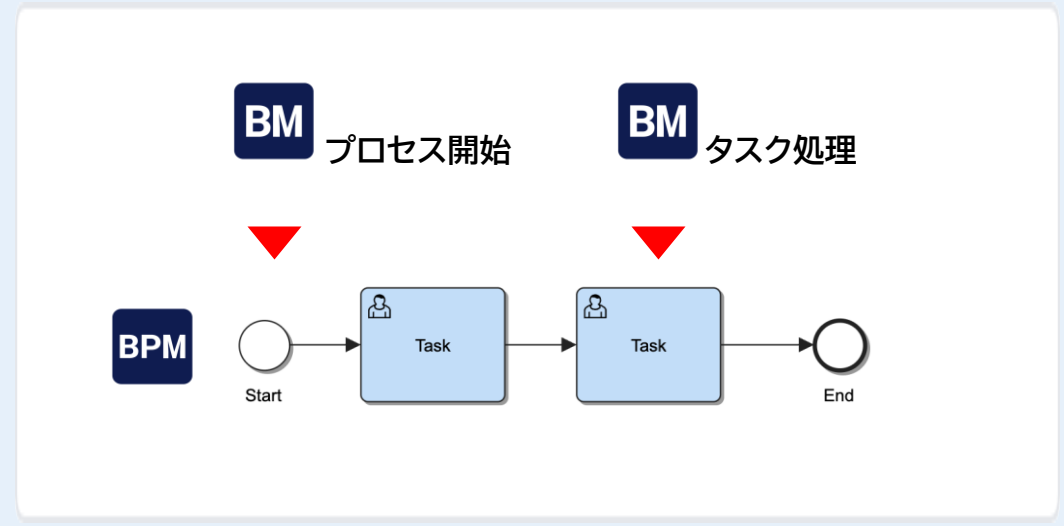
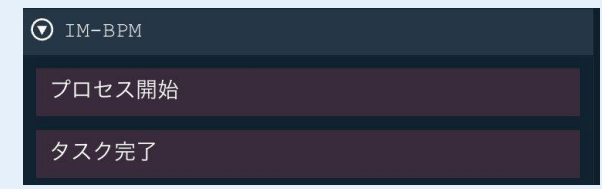
Before
! 解決する課題

不要な資材開発

ローコード開発時に、標準のアクションが無く、ユーザ側でREST API連携やIM-LogicDesignerで開発をする必要があった。



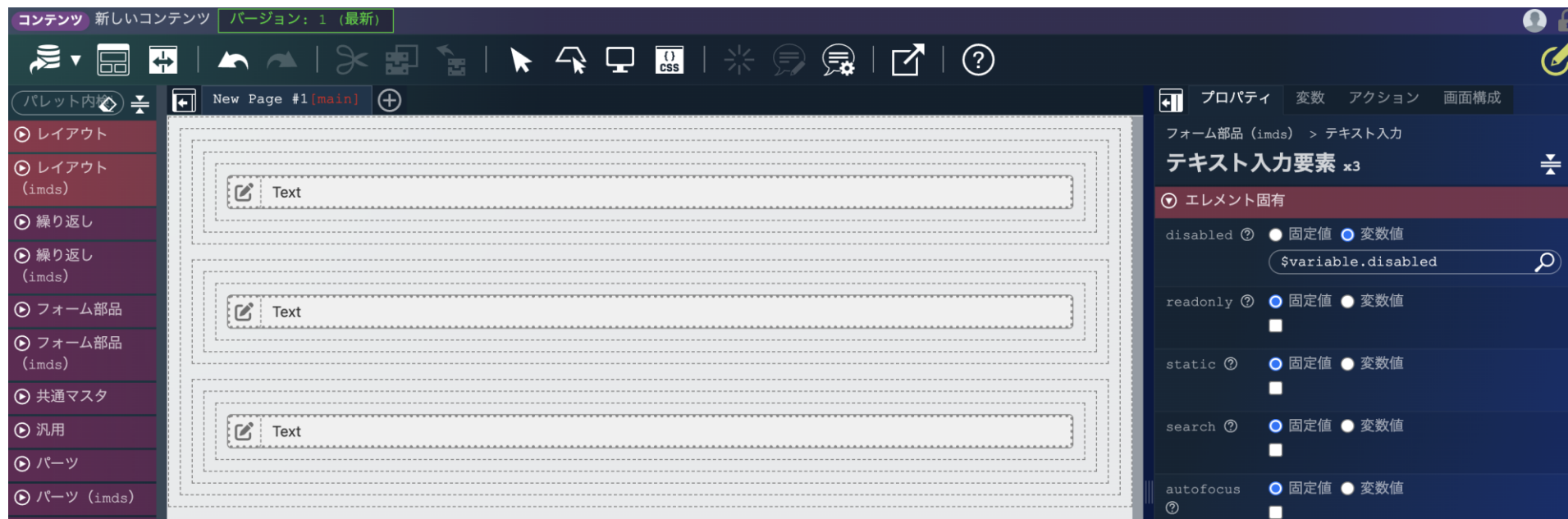
After
✓ 標準アクションを追加し、ローコード開発を効率化



エレメントの一括プロパティ指定

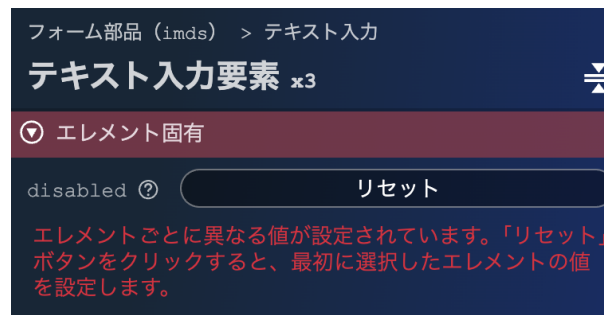
エレメントを複数選択した際に、同じプロパティに対して一括で値を指定できるようになりました。

(例)「テキスト入力」エレメントを3つ選択して、「disabled」プロパティを一度に設定



⚠ 注意点

選択したエレメントのうち、異なるプロパティ値が混在している場合は、プロパティ値が意図せず統一されてしまうことを防止するため、「リセット」ボタンが表示されます。



「タブセット」エレメントの追加

既存の「タブ」エレメントと、タブ切り替え時に表示/非表示が自動的に変更されるボディを併せ持つ、「タブセット」エレメントを提供しました。

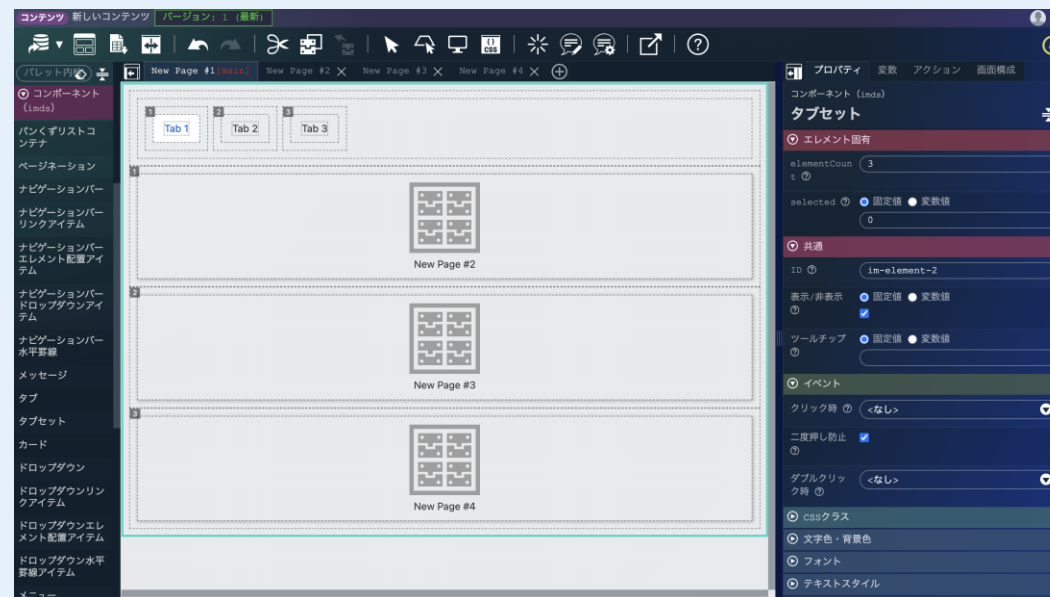
Before ! 解決する課題

タブ切り替えのための定義設定

これまではタブによって画面の一部項目を表示切替する場合は、「タブ」エレメントを使用しており、実際にタブを切り替えるためには、変数・アクションを定義する必要があった



After ✓ 変数・アクションを定義せずにタブ切り替えが可能に

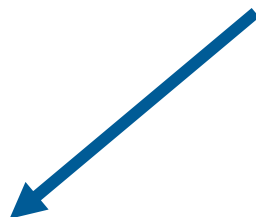


入力規則に条件付き必須機能を追加

必須チェックを行うかどうかを変数値・式表現で指定できる、条件付き必須機能を追加しました。

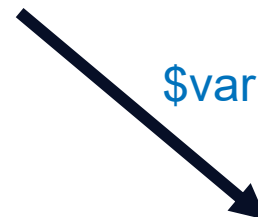
入力規則 必須 次の変数が真偽値：はい (true) と同義のときのみ必須

\$variable.key1 が true



名前

\$variable.key1 が false



名前

- ✓ 条件付き必須を使用することにより、以下の動作が可能となります。
画面上で入力項目が表示状態のときのみ、必須チェックを行う
特定の変数値の状態によって、別の変数の必須チェックのオン・オフを切り替える
特定の画面入力項目が入力されたときのみ、他の入力項目を必須扱いとする

input 系エレメントに autocomplete 属性を追加

オートコンプリート機能の制御を可能にするため、各入力系エレメントの「autocomplete」プロパティ、または設定ファイルで一括してautocomplete属性の on / off を切り替えられるようになりました。

オートコンプリート ON

登録者情報

名前

メールアドレス

sample@example.com

オートコンプリート OFF

登録者情報

名前

メールアドレス

- ✓ 金融系システムなどのセキュリティ要件として「ブラウザのオートコンプリート機能を無効化すること」の要求増加に対応

設計書出力の形式変更

設計書出力の変数の入力規則について、表現の形式を変更しました。

Before ! 解決する課題

可読性の改善

※1、※2などの参照記号が多く、可読性が低かった。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
1	変数																										
2																											
3	\$variable <マップ>																										
4	└ key1 <文字列>※1																										
5	└ key2 <文字列>※2※3※4※5																										
6	└ key3 <浮動小数点数>※6※7※8※9																										
7	└ key4 <文字列>※10※11																										
8	└ key5 <文字列>※12																										
9																											
10																											
11	※1 必須です。<データなし> は許可されません。																										
12	※2 1 未満の長さは許可されません。																										
13	※3 10 を超える長さは許可されません。																										
14	※4 ID以外の形式は許可されません。																										
15	※5 入力規則に則さない場合は次のエラーメッセージが表示されます:(固定文字列)ID 形式のエラーです。																										
16	※6 0.0 未満の数値は許可されません。																										
17	※7 100.0 を超える数値は許可されません。																										
18	※8 最大の整数桁数は3です。																										
19	※9 最大の小数桁数は2です。																										
20	※10 次の変数が真偽値: はい (true) と同義のときのみ必須です。: \$env.const.true																										
21	※11 大文字・小文字は区別せず、次の正規表現に則さない値は許可されません: ^\d(3)-\d(4)\$																										
22	※12 固定値: "item1 item2"以外の値は許可されません。																										
23																											



After ✓ 情報を一目で把握できる形式に

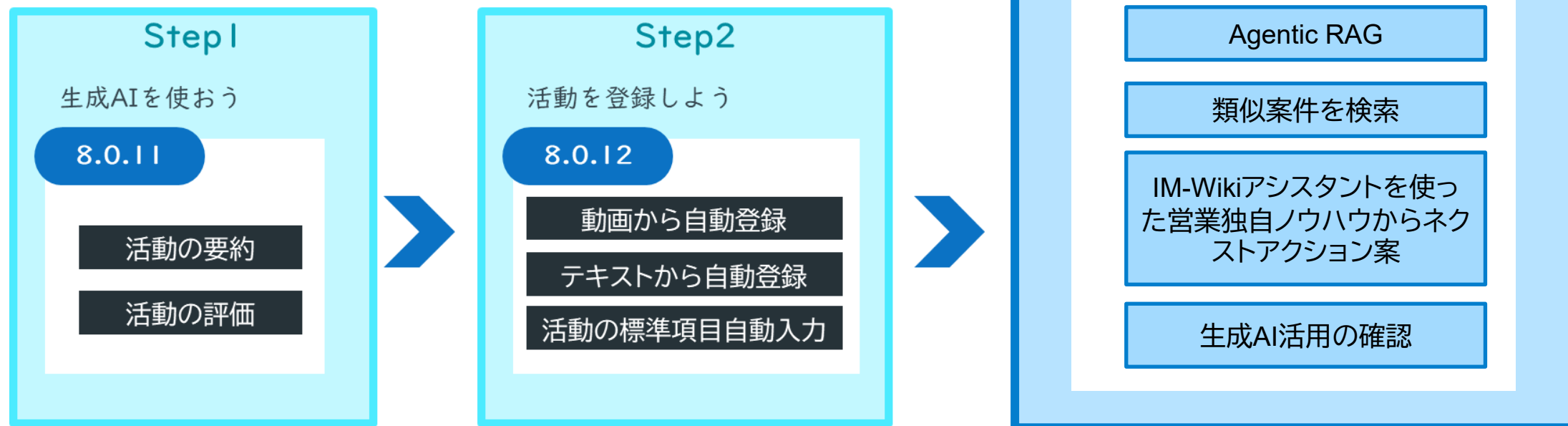
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU
1	入力規則																																														
2																																															
3																																															
4	\$variable <マップ>																																														
5	└ key1 <文字列>																																														
6	└ key2 <文字列>																																														
7	└ key3 <浮動小数点数>																																														
8	└ key4 <文字列>																																														
9	└ key5 <文字列>																																														
10																																															
11																																															
12																																															
13																																															
14																																															
15	※1																																														
16	※2																																														
17	※3																																														
18																																															
19																																															

⚠ 注意点

アップデートによって自動で新しいテンプレートに置き換わります。設計書出力のテンプレートをカスタマイズしているお客様や、以前の形式を継続利用したいお客様は、セットアップガイドをご確認ください。

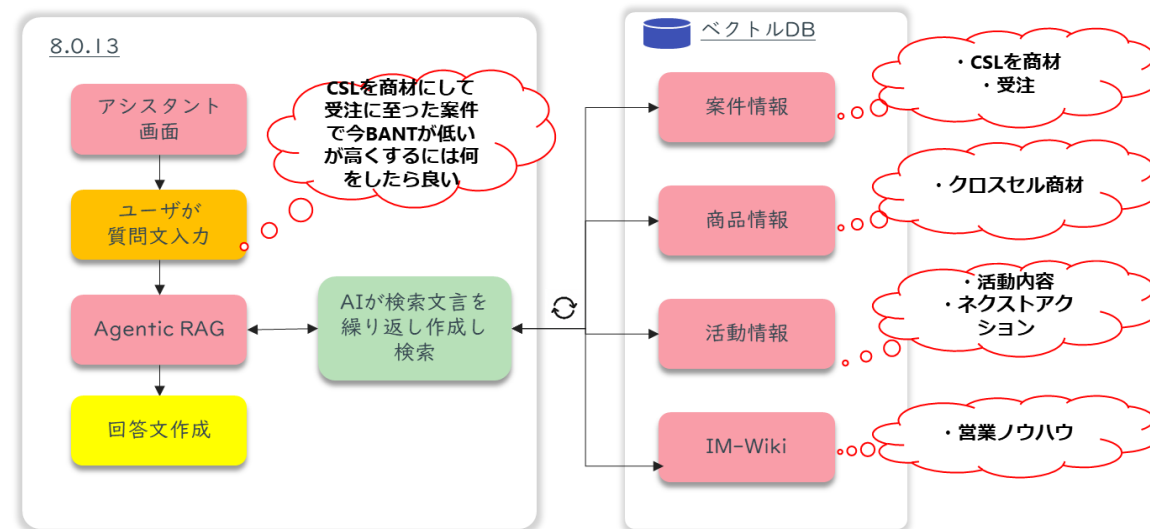
DPS for Sales(営業支援ツール)

生成AIを用いて営業の受注活動を支援する機能、生成AI活用を最大化する機能を追加しました。



営業の受注活動を支援

生成AIを用いて営業の受注活動を支援する機能、生成AI活用を最大化する機能を追加しました。

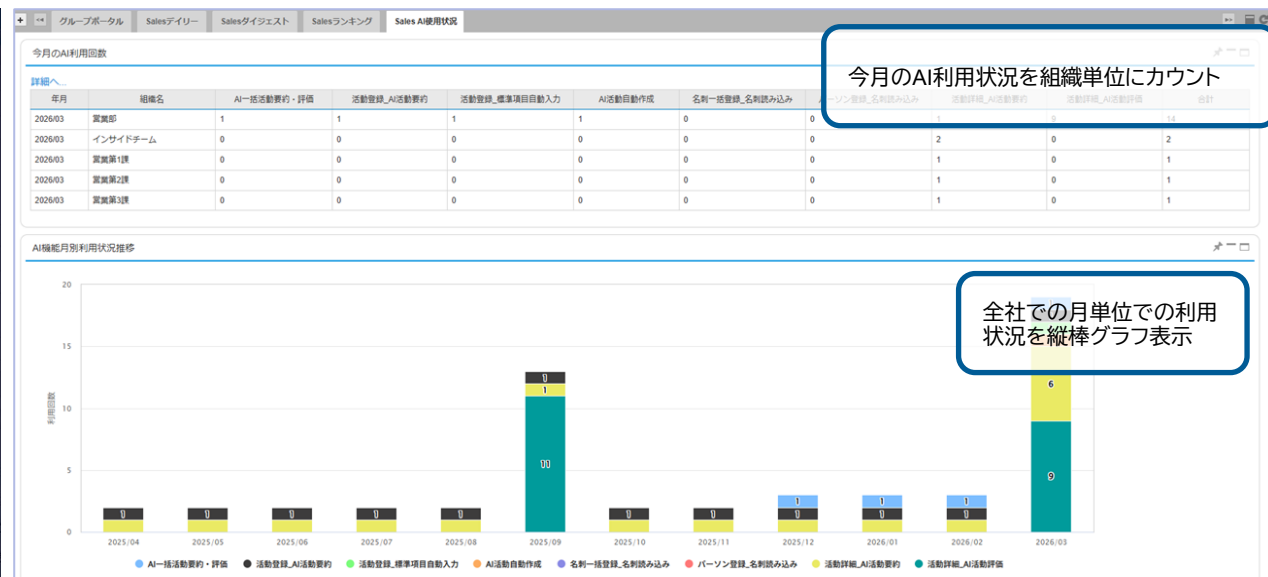
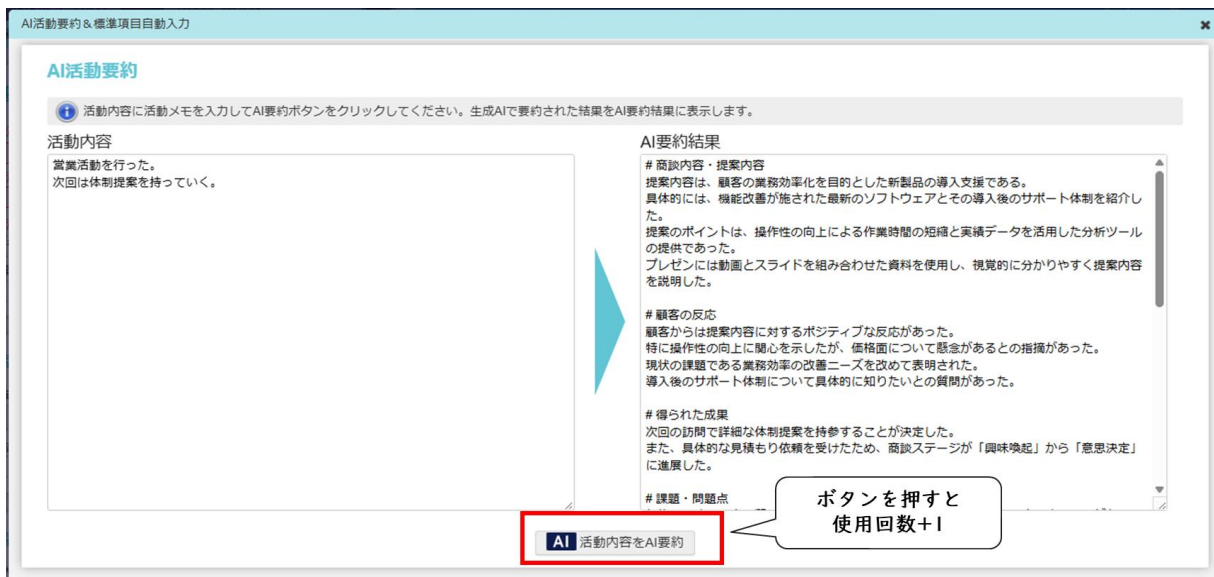


- ✔ 見たい情報をチャットで指定し、画面遷移無しで直接案件情報を確認することが可能。
- ✔ 回答精度向上のため、標準でベクトルDBの再構築のジョブネットを提供



生成AI利用状況の把握

生成AIを使われた回数を組織単位で分かる機能/ポートレットを追加しました。



Before
! 解決する課題

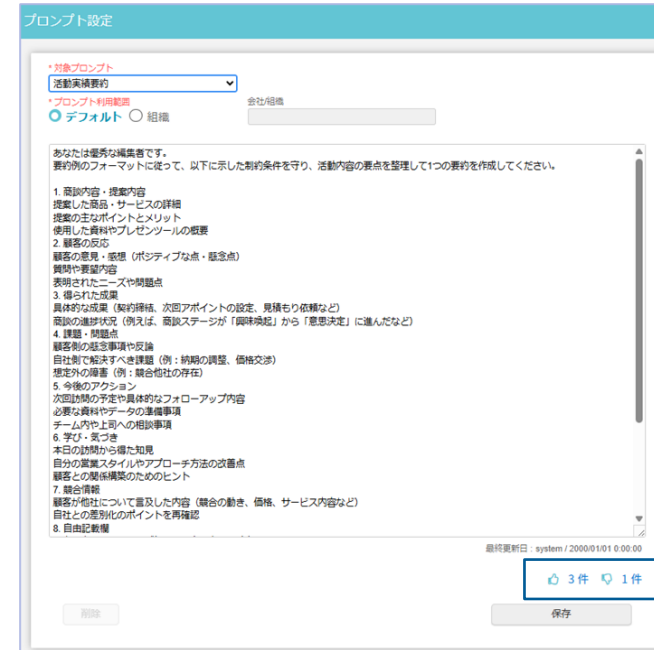
生成AIの機能を全社展開したが利用実態が不明
推進するにもヒアリングが必要

After
✓ 利用状況を組織単位、機能単位に可視化

✓ 利用促進対象の判断ができる

生成AIからの回答評価

生成AIからの回答をユーザが評価する機能を追加しました。



Before

解決する課題

プロンプトの見直しタイミングが不明
ユーザによるAI活用の妨げになる可能性がある

After

ユーザ評価に応じてプロンプト調整が可能に

管理者は評価をみてプロンプトの改善を加えるかの判断材料にさせていただきます

お問い合わせ

- 当資料は、アップデートの主要トピックスに限定した説明資料です。アップデートに関する情報は、要件情報公開サイトをご参照下さい。

▶ <https://issue.intra-mart.jp/>

- システム要件や制限事項につきましては、各製品のリリースノートを必ずご確認ください。

▶ <https://www.intra-mart.jp/document/library/>

当資料に掲載されている当社の商品・サービス名称等は当社の商標又は登録商標です。その他の会社名・商品名・サービス名などは各社の商号・商標又は登録商標です。



ご質問等ございましたら、下記へお問い合わせください。



株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート
セールス&マーケティング本部

Region / 地域	E-mail	Web
日本	contact@intra-mart.jp	https://www.intra-mart.jp/
Global	info@intra-mart.com	https://www.intra-mart.com/

A hand is shown from the bottom, cupping a glowing globe of the Earth. The globe is surrounded by a complex network of white lines and dots, representing a global network or data flow. The background is dark blue with soft, out-of-focus light spots. The logo for 'Intra-Mart' is centered over the globe. The letter 'i' is red and stylized with a dot above it. The rest of the text 'ntra-mart' is in white, with a registered trademark symbol (®) to the right.

*i*ntra-mart[®]

07

FAQ / Appendix

FAQ(よくあるご質問) 1

Q アップデートは必ず実施する必要がありますか？

A 必須ではありませんが、セキュリティ強化や新機能の利用、最新の動作環境への対応のため、定期的な実施を強く推奨しています。特に、サポート期限が切れたミドルウェア製品を使い続けることは、セキュリティリスクにつながる可能性があります。製品リリースノート記載外やサポート終了のミドルウェアをご利用される場合は、弊社サポート対象外または「条件付きサポート」となります。詳しくは「[製品リリースノート記載以外の動作環境について](#)」をご確認ください。

Q アップデートを適用する場合、今までのアプリケーションはそのまま使えますか？

A 製品標準機能は弊社の動作保証範囲内です。ただし、お客様やパートナー様が開発・カスタマイズされたアプリケーションは弊社の動作保証の範囲外となります。詳細は「[アップデート・パッチにおける動作保証範囲](#)」をご確認ください。また、アップデートごとに仕様変更や制限事項の変更が実施される場合がありますので、適用前に必ずアップデート対象のバージョンのリリースノートをご確認いただき、開発・カスタマイズされたアプリケーションやモジュールに影響がないかを検証(動作確認テスト)していただく必要があります。

FAQ(よくあるご質問) 2

Q アップデートは有償ですか？

A アップデートの実施には保守サービスの有償契約が必要となります(※)。
保守契約期間及びライセンス期間が有効期間であることを必ずご確認ください。
ただし、利用するライセンスの変更、エディションの変更(エディションアップ)などは費用が発生する場合があります。
※カスタマーサクセスライセンス、Accel-Mart Plusの場合は保守サービスは利用料金に含まれています。

Q アップデートは定期的にリリースされていますか？

A 基本的に年2回(4月、10月)リリースしています(2026年4月現在)。
なお、アップデートとは別に、緊急性の高いセキュリティ対応や不具合修正のためにパッチが随時提供されることもあります。
2026年度はSummer、Autummのリリースを計画しています。

- 製品アップデートに関するその他の情報やよくあるご質問につきましては、下記サイトも合わせてご確認ください。
 - ▶ [バージョンアップ、アップデートの手引き](#)
 - ▶ [製品保守ポリシーとアップデート・パッチの考え方](#)
 - ▶ [intra-mart製品サポートサイト](#)
 - ▶ [Accel-Mart Plusサポートサイト](#) (Accel-Mart Plusをご利用の場合)

2026 Springで強化/改善された主な機能のエディション別比較表

機能	Customer Success License			ASEAN		永続ライセンス			Accel-Mart Plus (*1)
	Basic	Advance	Professional	Pro-Code	Low-Code	Standard	Advanced	Enterprise	
IM-Copilot		○	○		○		○	○	○*2
Accel Studio		○	○		○			○	○
リソースタグ付け機能		○	○		○			○	○
既存WFのリソース追加		○	○		○			○	○
テスト生成機能		○	○		○			○	○*2
IM-BPM			○				*3	*3	*3
iGrafX連携			○				*3	*3	*3
データ収集基盤	*4	*4	*4						○

その他の機能のライセンス・エディション別比較表につきましては「[イントロダクション - 5.2 intra-martの製品構成](#)」をご確認ください。

*1 2026年4月末に2026 Spring対応予定

*2 全文検索サーバ/IM-Copilotオプション契約が必要

*3 IM-BPM for Accel Platformライセンス購入が必要

*4 インターネットに接続する環境で構築している場合に対象

その他のアップデート内容

その他の、2026 Springバージョンで実施された主なアップデートの概要は以下の通りです。
詳細は各機能・製品のリリースノートまたは要件情報公開サイトをご確認ください。

IM-Copilot

- Wikiアシスタント会話履歴を削除するジョブを追加しました。
- OpenAIとAmazon Bedrock利用時にViewCreator SQLビルダ アシスタントで利用するモデルを個別に設定できるようにしました。
- アシスタント実行UIにチャット送信用のキーボードショートカットを追加しました。

▶ [IM-Copilot 利用ガイドはこちら](#)

IM-LogicDesigner

- ロジックフロー定義一覧画面と各定義一覧画面(ユーザ定義・トリガ定義・ルーティング定義)との間で相互にアクセスできるボタンをメニューに追加しました。
- IM-BPMタスク「タスクの処理対象ユーザの削除」を追加しました。

▶ [intra-mart Accel Platform リリースノートはこちら](#)

その他のアップデート内容

IM-BloomMaker

- リッチテーブルのセルの横幅の最大値、最小値を指定できるようにしました。
- リッチテーブルのselect型のセルにおいて、選択候補にない値をセルに表示できるようにしました。
- リッチテーブルの部品を操作したときに、テーブルの縦スクロール位置をリセットするかを指定できるようにしました。

▶ [IM-BloomMaker リリースノートはこちら](#)

IM-Workflow

- 処置対象者再展開ジョブに申請ノードに対して処理対象者の再展開を制御するためのパラメータを追加しました。

▶ [intra-mart Accel Platform リリースノートはこちら](#)

IM-BIS/IM-FormaDesigner

- Formaの画面アイテム「ボタン(直接中止)」のプロパティに「処理コメントの必須入力チェック」項目と「実行時に設定を許可」項目を追加します。

▶ [IM-BIS リリースノートはこちら](#)

その他のアップデート内容

IM-BPM

- プロセス定義IDが65文字以上となるのを防ぐ、入力規則を追加します。
プロセス定義詳細/プロセスインスタンス詳細画面におけるプロセス図や一括マイグレーションの制限事項に対応
システムプロパティにて利用有無の設定が可能

▶ [IM-BPM リリースノートはこちら](#)

ViewCreator

- TIMESTAMP型を日付として扱えるデータ型「日付(変換型)」を追加しました。
- REST APIで返却する日時情報にアカウントのタイムゾーンを適用する機能を追加しました。
- グラフの描画形式のデフォルトをEChartsに変更しました。

▶ [intra-mart Accel Platform リリースノートはこちら](#)

その他のアップデート内容

DPS for Sales

- 活動一覧にコメント有無フラグ列の追加
- 活動詳細に新規コメントがある場合、コメント欄を初期で開くように変更
- 集計帳票を同期でも非同期でも作成できる機能を追加
- 集計帳票出力時の検索画面に検索条件機能を追加
- 案件別集計帳票、活動別集計帳票で扱える項目を追加

▶ [DPS for Sales リリースノートはこちら](#)

intra-mart Accel Kaiden!

- Microsoft 365やLINE WORKSなど外部サービスとの連携を強化
- gpt-5系のモデルを利用できるように改善しました。(生成AI-OCR連携強化)
- ポータル上で、決裁・精算が必要な決裁事前申請書を確認できるよう決裁未完了ポートレットを追加しました。
- 作業実績機能のスマートフォン対応
- スマートフォン版の勤務入力画面上で、作業実績を入力が可能になりました。
- 申請・承認画面の読み込み速度向上

▶ [intra-mart Accel Kaiden! リリースノートはこちら](#)

その他のアップデート内容

PDFソリューション

- ARM64アーキテクチャに対応
IM-PDFDesigner等ワイエスエス社提供のPDFソリューション全般
※Office系 → PDF変換の機能についてはARM64に非対応

IM-PDFAutoConverter

- IM-LogicDesignerタスク追加(PDF変換処理タスク)。

▶ [IM-PDFAutoConverter リリースノートはこちら](#)

PDF押印エレメント(Accel-Mart)

- Accel-Martにおいて、IM-BloomMaker版 PDF押印エレメントの提供開始。
※IM-FormaDesigner版：PDF押印アイテム
- テキスト印対応

その他のアップデート内容

intra-mart Accel Documents

- ファイル内容が書き換わる不具合を修正しました。
htmlファイルを別タブで表示する場合、ファイル拡張子を制限した際にブラウザのhtmlファイルをダウンロードした場合に発生しておりました。

▶ [intra-mart Accel Documents リリースノートはこちら](#)

intra-mart Accel Archiver

- IM-LogicDesignerタスク拡充(ユーザ利用機能の大部分)。

▶ [intra-mart Accel Archiver リリースノートはこちら](#)

その他の製品・エクステンションシリーズ

- [ドキュメントライブラリ](#)の最新リリースノート、または、[要件情報公開サイト](#)をご確認ください。

2026 Springアップデート対象 OEM製品

以下の製品は2026 Springでアップデートが実施されます。

アップデート対象のOEM製品

- intra-mart Accel Archiver
- IM-PDF Designer/Designer Fullpack
- IM-PDF Coordinator
- IM-PDF AutoConverter
- IM-PDF TimeStamper
- intra-mart Accel Collaboration アンケート
- intra-mart Accel Kaiden!
- intra-mart Accel GroupMail

アップデート内容が無いOEM製品

下記製品は2026 Springでアップデート内容はありません。

- IM-PDF DirectPrint

システム要件のアップデート

サーバ要件

〔サポート対象変更〕

- Oracle Database 23ai
→Oracle AI Database 26ai

〔サポート対象追加〕

- Microsoft SQL Server 2025
- PostgreSQL 18

〔サポート対象削除〕

- PostgreSQL 13

クライアント要件

〔サポート対象削除〕

- Windows 10

⚠ 注意点

BPWのワークフローデザイナーはWindows 11(32bitOSが無いため)に対応しておらず、Windows 10(32bit)を利用する必要がありますが、条件付きサポート扱いになります。

2026 Springで連携可能な生成AIサービス・利用条件

連携可能な生成AIサービス

- OpenAI (※1)
- Azure OpenAI Service (※1)
- Amazon Bedrock (※2)

- 各サービスは別途契約が必要です。
- 各サービスを複数利用(併用)できません。
サービスごとに利用可能な機能が異なります。(次ページの機能対応表を参照)

利用条件

対象エディション

- 【カスタマーサクセスライセンス】
 - アドバンスエディション
 - プロフェッショナルエディション
- 【永続ライセンス】
 - アドバンスエディション(※3)
 - エンタープライズエディション(※3)
- 【ASEAN地域向けライセンス】
 - ローコードエディション

※1: intra-mart Accel Platform 2024 Spring以降のバージョンで環境を作成する必要があります。

※2: intra-mart Accel Platform 2024 Autumn以降のバージョンで環境を作成する必要があります。

※3: 2025 Spring以降でご利用いただけます。2024 Autumn以前の永続ライセンスのエディションではご利用いただけません。

生成AI連携機能(IM-Copilot)を利用する場合の注意事項

ベクトルデータベースについて

IM-CopilotでRAG機能を利用する場合、ベクトルデータベースの追加が必要となります。サポート対象は下記の2製品です。

- Apache Solr 9.6 (※1)
- pgvector (※2)

(※1)2024 Spring以前でSolrをご利用の場合(IM-ContentsSearchご利用者)、バージョンアップが必要になります(8→9)。

(※2)すでにPostgreSQLをご利用の場合、エクステンションの追加が必要になります。

生成AIサービス 機能対応表

	Wikiアシスタント	SQL自動生成 (ViewCreator)	Accel Studio アシスタント/テスト機能	IM-LogicDesigner IM-Copilot関連タスク
OpenAI	○	○	○	○
Azure OpenAI Service	○	○	○	○
Amazon Bedrock	○	○	○	○

その他の提供内容

「ミドルウェア対応ロードマップ(2025 Autumn-2028 Spring)」

intra-mart Accel Platformに対応するのミドルウェア製品について、今後三か年でどのような対応をしていくか整理した「ミドルウェア対応ロードマップ(2025 Autumn-2028 Spring)」を公開しております。

資料は弊社コミュニティサイトのicoNEO上からご確認いただけます。

▶ [icoNEO - Partner's Room/製品・サービス資料](#)

要件情報公開サイトについて

本資料は要件情報公開サイトに記載されている内容のうち、主要なアップデートについて記載しています。

本資料に記載のないアップデート情報、各アップデート内容の詳細を確認したい場合は、要件情報公開サイトを併せてご利用ください。



intra-mart要件情報公開サイト
<https://issue.intra-mart.jp/>

The image displays two screenshots of the 'intra-mart 要件情報公開サイト' (intra-mart Requirement Information Site). The left screenshot shows the home page with a search bar containing the ticket number '37020'. A red arrow points from this search bar to a red callout box that says 'チケット番号による検索' (Search by ticket number). The right screenshot shows a search results page with a table of tickets. A red box highlights the search results, and a red arrow points from the search bar to this box. Below the screenshots, a green callout box says 'カテゴリによる検索' (Search by category) and '機能・製品ごとに検索できます' (You can search by function and product). To the right of the green box, three URLs are listed in a green dashed box:

- <https://issue.intra-mart.jp/projects/iap>
- <https://issue.intra-mart.jp/projects/iac>
- <https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm>

要件情報公開サイト：2026 Spring対応要件へのリンク 1

製品・機能	対応要件一覧URL
intra-mart Accel Platform	https://issue.intra-mart.jp/projects/iap/issues?query id=1222
Accel Studio	https://issue.intra-mart.jp/projects/accelstudio/issues?query id=1193
IM-BloomMaker	https://issue.intra-mart.jp/projects/bloommaker/issues?query id=1200
IM-BIS	https://issue.intra-mart.jp/projects/bis/issues?query id=1198
IM-FormaDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/forma/issues?query id=1204
IM-Spreadsheet	https://issue.intra-mart.jp/projects/spreadsheet/issues?query id=1210
IM-BPM	https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm/issues?query id=1202
Accel Platform Mobile	https://issue.intra-mart.jp/projects/smacolow/issues?query id=1192
e Builder	https://issue.intra-mart.jp/projects/ebuilder/issues?query id=1196
IM-PDFAutoConverter	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfconv/issues?query id=1206
IM-PDFDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdes/issues?query id=1208

要件情報公開サイト：2026 Spring対応要件へのリンク 2

製品・機能	対応要件一覧URL
intra-mart DPS for Sales	https://issue.intra-mart.jp/projects/dps/issues?query id=1224
intra-mart Accel Collaboration	https://issue.intra-mart.jp/projects/iac/issues?query id=1214
intra-mart Accel Kaiden!	https://issue.intra-mart.jp/projects/iak/issues?query id=1220
intra-mart Accel Archiver	https://issue.intra-mart.jp/projects/iaa/issues?query id=1212
intra-mart Accel Documents	https://issue.intra-mart.jp/projects/iad/issues?query id=1216
intra-mart Accel GroupMail	https://issue.intra-mart.jp/projects/iag/issues?query id=1218